

# LED COMPLETE GRILL MARKER

## 動画によるインストールガイド



## 取付上のご注意

- 本書記載以外の取付方法による事故、および車両・製品の故障について一切責任を負いません。
- 他の型式、車種には使用しないでください。
- 製品の改造は行わないでください。
- 取付け作業は必ずエンジンを停止し、パーキングブレーキを掛けた状態で行ってください。
- 車両ボンネット内の板金エッジは非常に鋭利で、ケガの原因となるため、作業時は必ず手袋を着用してください。

## 安全上 / 使用上のご注意

- 本製品は 12V 車専用です。
- 本製品は IPF 製マーカーランプ専用です。
- 本製品の取り付けは原則としてお買い上げの販売店もしくは技術力のある専門店に依頼してください。

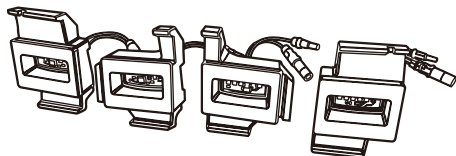
## 車検について

IPF 製マーカーランプとの組み合わせにより、  
保安基準第 42 条「その他の灯火等の制限」に準拠しておりますが、  
下記の取付け方をしますと車検不適合となります。

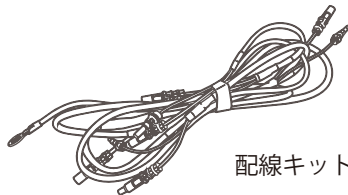
- マーカーランプが点滅、光度の増減をするような点灯接続をした場合。  
(ターンランプ、ストップランプ、バックランプ、速度表示ランプ等に連動した接続)

国の行政機関である国交省の運輸支局と各ディーラーでは車検についての見解が異なる場合がございます。  
見解の相違があった場合においては、弊社ではその責任を負いかねます。予めご了承ください。

## 構成部品



マーカーブラケット  
(マーカー組込み済み)



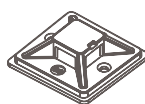
配線キット (長)



配線キット (短)



マーカーデカール



ケーブルタイマウント 4 個

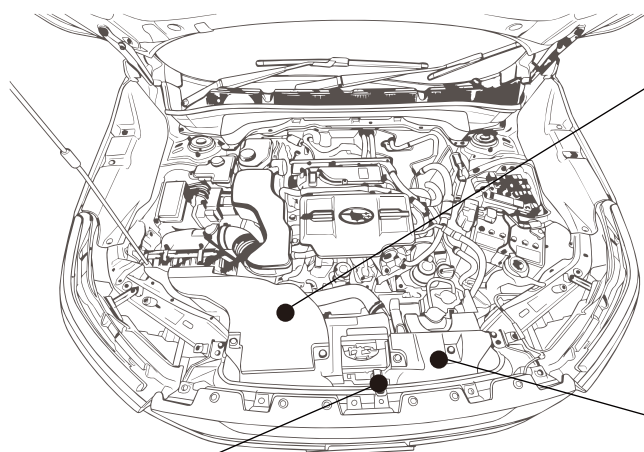


タイラップ (大) 5 本  
予備用 1 本

タイラップ (小) 5 本

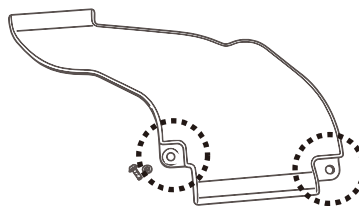
SLG の場合のみ必要な作業です。ただし SL5 の場合でも、手元のスペースを確保してゆとりをもって作業したい方はこちらの作業を推奨します。

①ボンネットを開け、イラストの各パネルを A→B→C の順番で外します。

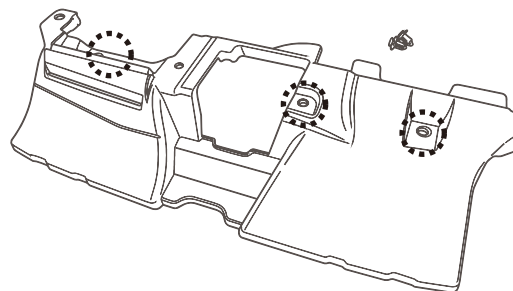


A: インテークダクト

のクリップ2箇所を外して、ダクトを取り外します。

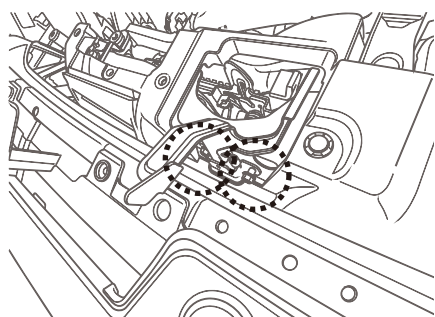


C: ブラケットグリル



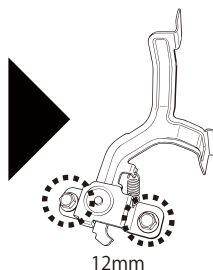
のクリップ3箇所を外して、ブラケットグリルを取り外します。

B: レバーアッセンブリ フロントフード

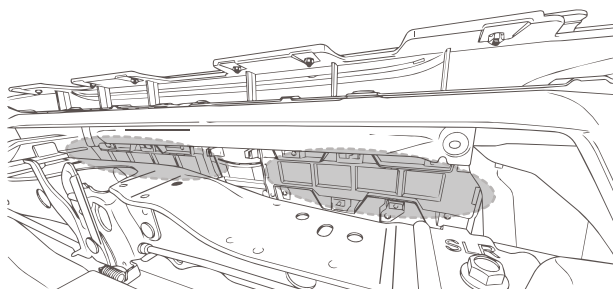


のボルト2箇所を外して、レバーアッセンブリを取り外します。

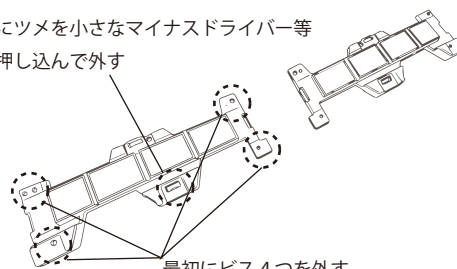
※ボルトを落下させないようにご注意ください。



②スペースが出来たグリルの裏側から、開口部を塞いでいるプレートのビス（片側4箇所）を外し、固定のツメを押し込み、プレート本体（左右）を取り出します。



次にツメを小さなマイナスドライバー等で押し込んで外す

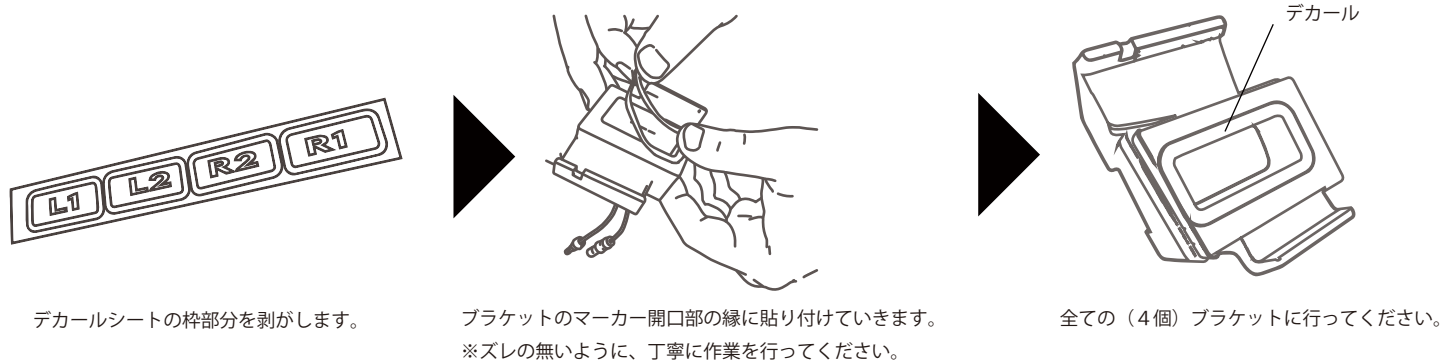


最初にビス4つを外す

※小さなビスのため、エンジンルーム下に落下させないようにご注意ください。

## ここからは SLG・SL5 共通の作業手順です。

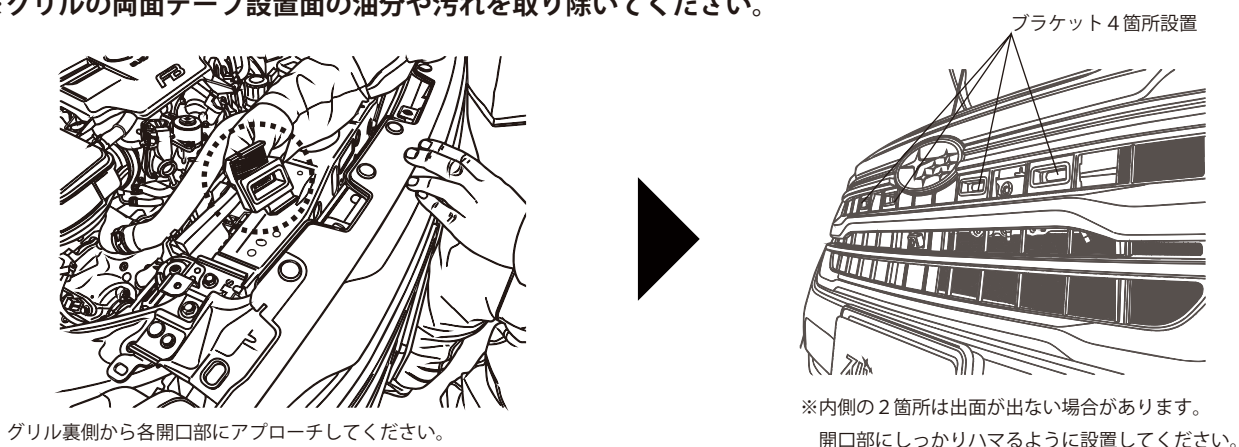
### ③ 付属のマーカーデカールを、ブラケットのマーカーの開口部の外周に貼り付けます。



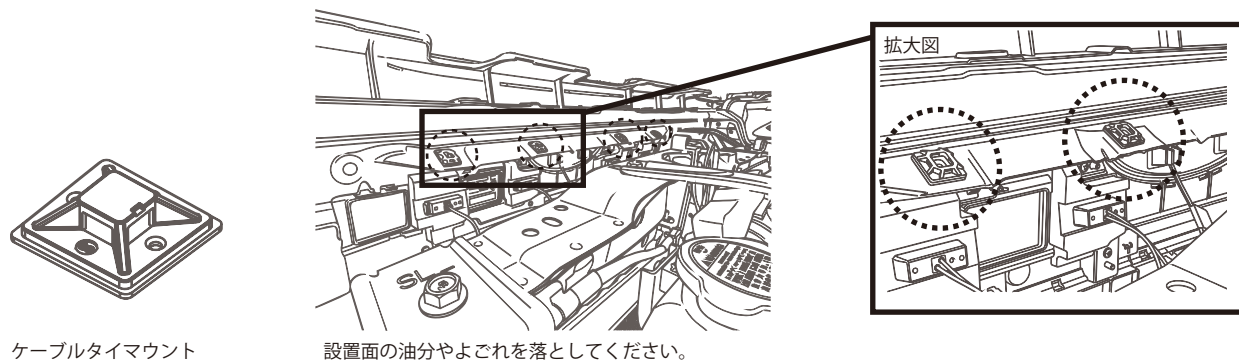
### ④ ブラケットの両面テープの剥離紙を剥がして、グリル裏から開口部にブラケットを差し込み固定します。

※剥離紙を剥がす前に、一度該当する開口部に差し込んでフィッティングを確認してください。

※グリルの両面テープ設置面の油分や汚れを取り除いてください。

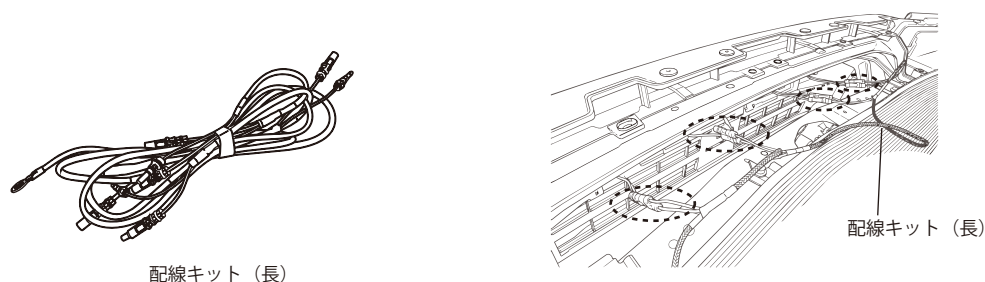


### ⑤ 付属のケーブルタイマウント（４個）をグリル裏側のブラケット設置面の上部の鉄板部分に設置します。



### ⑥ 配線キット（長）とグリルマーカー側のギボシ端子を接続します。

※端子の差し込みが不十分な場合、点灯不良の原因となります。しっかり差し込んでください。



#### ギボシ端子接続

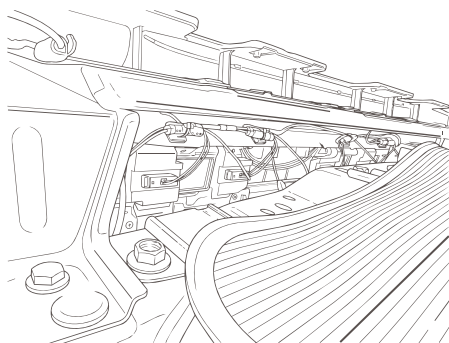
防水スリーブ内のギボシ端子を  
しっかり差し込んでください。



特に奥まで差し込んでいない場合、  
点灯不良の原因になります。

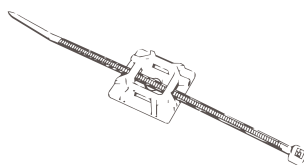


⑦各マーカー間の余った配線を、⑤で設置したケーブルタイマウントと付属のタイラップを使って束ねます。

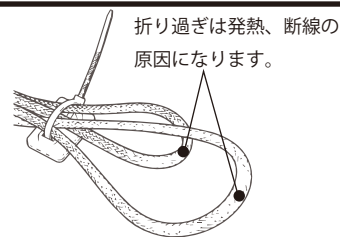


※配線をグリル正面から見えないように隠します。

#### ケーブルタイマウントの使い方



付属のタイラップ（大）をケーブルタイマウントの片方から挿入する。

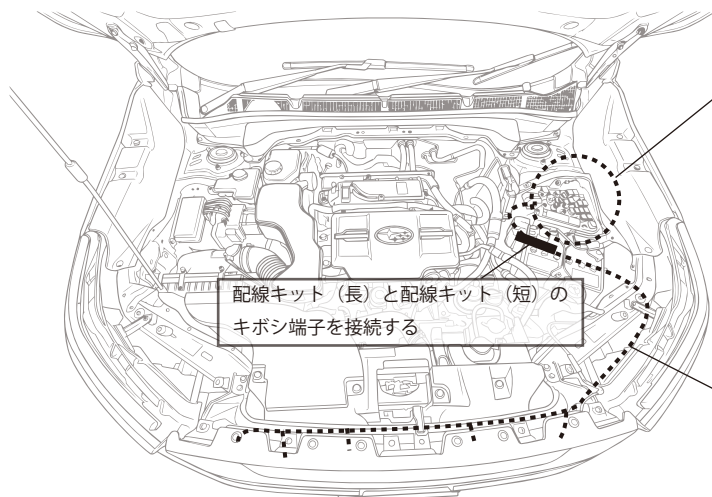


折り過ぎは発熱、断線の原因になります。

配線を束ねて、タイラップで縛る。  
※断線の原因になるので、強く縛らない。

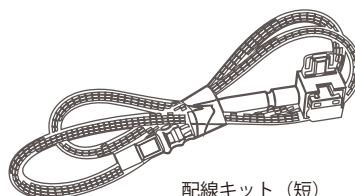
⑧配線キット（長）と配線キット（短）のキボシ端子を接続し、ヒューズボックス側まで引きまわします。

※要所で付属のタイラップを使って、配線を固定してください。



配線キット（長）と配線キット（短）の  
キボシ端子を接続する

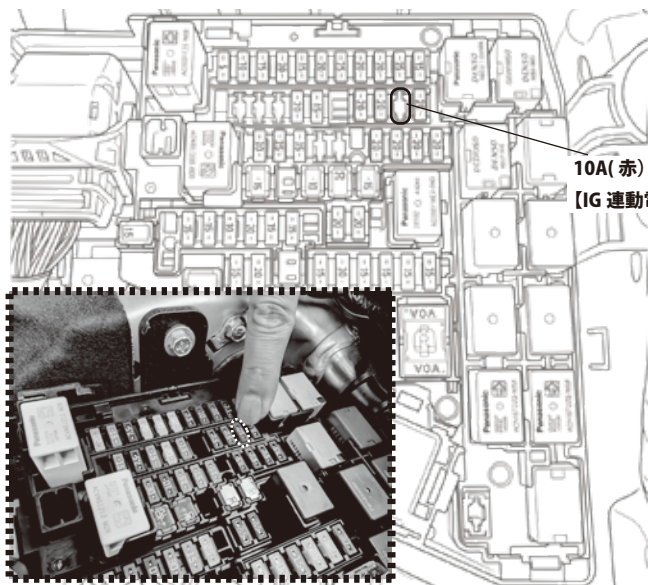
ヒューズボックスカバーを外す



配線キット（短）

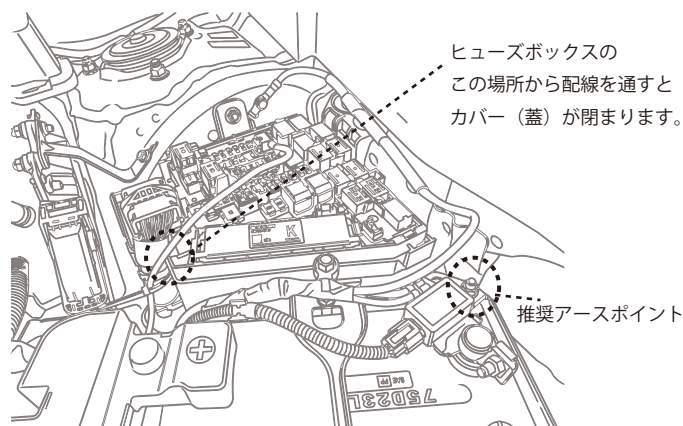
配線の引きまわしルートは、任意で行ってください。  
要所でサービスホール等と配線を付属のタイラップ（小）で固定します。  
また、配線があまった場合も付属のタイラップ（小）で束ねてください。

⑨ヒューズボックス内の該当するヒューズを抜き、  
配線キット（短）のヒューズ型端子を差し込みます。



10A(赤) ヒューズ  
[IG 連動電源]

⑩配線キット（短）の丸形端子をアースに接続します。



ヒューズボックスの  
この場所から配線を通すと  
カバー（蓋）が閉まります。

推奨アースポイント

※アースポイントは任意ですが、のバッテリーマイナス端子がオススメです。

⑪点灯確認を行います。その後、取り外した部品を戻して作業完了です。